

---

# 人間

柊鏡

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

人間

### 【Nコード】

N8356F

### 【作者名】

柊鏡

### 【あらすじ】

キリスト教の聖人ピサロは、ある日悪魔に会った。彼は恐れ戦いて、逃げようとした。

## 人間

キリスト教の聖人ピサロは、ある日悪魔に会った。

彼は恐れ戦いて、逃げようとした。

逃げようとする彼の背中に悪魔が言った。「何もしない」

「そんな筈はない。お前は悪魔じゃないか」

強がってみたものの、声の震えを抑え切る事は出来なかった。

「悪魔だから、暴力は振るわない」

「嘘だっ！」

「悪魔は嘘を吐かない」

しれっと悪魔は言う。

ピサロは言った。「ならば 私を救ける！」

彼は道に迷っていたのだ。

「西へ進め。街に出る」

ピサロは悪魔の言等信じなかった。

わざと東へ向かったが迷うばかりだった。若しかしてはと思い、

西へ向かい直すと、街に出た。

街の門の前に悪魔が立っている。「本当だっただろう？」

「いや、これから騙す気なんだろう」

「そんな事はない」

門の際に乞食の少女が座り込んでいるのをピサロは見つけた。

少女は物欲しそうな目でピサロを見た。彼が肩から提げている鞆には、乾燥パンが詰まっていた。

「やらんぞ！」

「聖人なのに？」悪魔が揶揄すように言った。

ピサロはムっとした。

「お前は」

悪魔が手を掲げた。

すると天からパンが降ってきた。

「毒のパンだな」

「いやいや」

「ありがとう」少女はパンをぱくついている。毒が入っている様子はなかった。

ピサロが言った。「如何してお前は悪魔のクセに、人間を助け、嘘も吐かず、暴力も振るわないのだ？」

悪魔は口の端をあげた。

「嘘を吐き、人間を見捨て、暴力を振るってしまつてはそれは悪魔じゃない。人間だ」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8356f/>

---

人間

2010年10月12日07時50分発行